

令和3年度教育研究業績書

氏名 中坊 勇太

最終学歴	大阪大学大学院経済学研究科経済学専攻博士後期課程 修了	
取得学位	博士(経済学) (大阪大学 2021年3月)	
所属学会	日本経済学会、行動経済学会	
専門分野	マクロ経済学、行動経済学	
研究課題	時間非整合性が経済成長・経済厚生に与える影響に関する研究	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・経済学(前期) ・D経済学(前期) ・消費と経済(後期) ・社会統計学Ⅰ・Ⅱ(前期・後期) ・社会体験実習(通年) ・演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(七)(前期・後期)
	大学院修士課程 担当科目 (博士前期課程含)	
	大学院博士後期課程 担当科目	
	通信教育部担当科目	
【研究上の特記事項】	令和3年度～令和5年度科学研究費助成事業(若手研究)研究代表者。研究課題名『現在バイアス選好が公的年金政策に与える影響:経済成長・経済厚生の観点から』(研究課題番号:21K13264)。	
【教育上の特記事項】	学生の理解度向上のため、毎回講義資料を配布するとともにこまめに課題を出しその解説を授業内で行っている。WEB授業においては講義資料に加え講義解説動画・音声を公開するなど、学生が自身のネット環境に応じた最適な教材を選択できるようにしている。	
【社会的活動】		
【学内活動】 (学内職歴を含む)	委員:学生指導委員会委員、人権委員会委員、学科予算委員、社会学部実習室管理委員、社会調査士カリキュラム検討委員、歴史フォーラム実行委員会委員 顧問:トレーニングサークル顧問	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) ①スマートフォンと〇〇の世界 ② ③	共	令和4年3月	ナカニシヤ出版	第3章「スマートフォンと意思決定の世界」を執筆した。スマートフォンを「思ったよりも」使いすぎるメカニズムと対処法について、行動経済学の観点から論じた。 pp.29-42。
(学術論文) ① ② ③				
(学会発表) ① ② ③				
(その他) ① ② ③				